

「破風岳登山(1)」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka

北軽井沢や嬭恋村から北西の方角を見ると、特異な山容の山が見えます。ちょっと中心が窪んだような地形で、特に残雪の時期には目立ちます。



この窪んだところが「毛無峠(けなしとうげ)」、左側の少し尖った山頂が、今回目指す「破風岳(はふだけ)」です。かなり以前に何度か登った山なのですが、アプローチ(自家用車での移動)が長く、やや躊躇していました。小浅間山の場合、私の山荘から登山口まで、20分足らずです。しかし破風岳は、登山口の毛無峠まで私の山荘から1時間半もかかります。



(国土地理院地図)

毛無山は、群馬県(地図の南側)と長野県(地図の北側)の境の山脈にある、いわゆる「上信国境」の山の一つです。毛無峠まで行ってしまえば、あとは健脚の人なら30分で登頂できる「楽名山」の一つです。ただし、毛無峠への公共交通手段は全くないので、自家用車かタクシーでしかアプローチできません。



この写真も嬭恋村から見たものです。左側の尖った峰が破風岳です。非常に急峻に見えますが、一番急に見えるところは実際に崖になっていて、とても普通の装備では直登できません。登山道はやや左側の尾根にジグザグにつけられています。



根拠地は群馬県北西部の「万座温泉(まんざおんせん)」です。ここまでは、吾妻線の万座・鹿沢口駅から路線バスもありますが、ここから先は自家用車かタクシーしかありません。



万座温泉から 30 分ほど、県道と林道を通して、やっと登山口の毛無峠に着きました。この峠も、長野県と群馬県の県境にあります。現在群馬県側は崩落が激しく、通行止めになっています。



このあたりではガードレールも道標も、つぶれたものが多く見られます。残雪が谷に向かって移動する時の圧力で、こうになってしまうのです。



毛無峠からは目的地の山頂がよく見えます。走れば 5 分ぐらいで着きそうですが、標高差は 176m もあり、結構な急登なので、やはり 30 分はかかります。



この日は天気が晴れたり曇ったりでした。上信国境

のこの山嶺は、風の通り道なので、天候も安定しないのです。



晴れるとこんな感じの尾根です。標高こそ 2000m に満たない山脈ですが、強い風と冬場の豪雪で、樹木の成長が難しく、一面の笹原なのです。



「破風岳の登山道」(画；C.Tanaka)
画に描くこんな感じです。「おおらかな尾根道」という表現がぴったりの風景だと思います。



峠から歩き始めて 10 分間ぐらいは、比較的緩斜面の笹原です。ちょうど良い準備運動になります。問題はこのあとの急登です！